

地域密着の医療・福祉施設



豊橋市保健所保健センター「ほいっぷ」

「12誘導心電図伝送システム」 心疾患の早期診断へ

「豊橋ハートセンター」が市へ寄贈

■保健・医療・福祉の機能が集約
豊橋市保健所保健センターは通称「ほいっぷ」の名称で、休日急病夜間診療所やこども発達センターなどを備える。

今年2月には、難病患者の支援などについて意見を交わす研修会を初開催。医療や福祉、行政関係者など約140人が参加して、在宅医療や介護の在り方について話し合った。研

豊橋市の大山、駒形、城山、船渡、大崎方面には田園風景が広がり、物流の拠点となる国道23号は多くの車両が通過する。市保健所や豊橋ハートセンターなどの医療・福祉施設は地域に密着した活動を展開。船渡町の児童養護施設は、地域の支えを受けながら、子どもを養育している。

街シリーズ

大山
駒形
城山
船渡
大崎
方面



心電図システムを市に寄贈した豊橋ハートセンター

修会は、保健所が主催。支援の輪を広げるため、立場を超えた連携を深める必要性を確認した。

保健所では、難病

患者の家族が交流し、支援を図っている。

「ほいっぷ」難病患者やその家族を支援

子どもの成長を地域で支援



汐川干潟の保全活動を行う章南中学校の生徒

開いている。普通、スポーツコース、家政科の生徒がリレー競技や綱引きなどを行い、熱い応援が飛び交っている。

■体育祭などを行う高校グラウンド、養護施設には地域支援

大山町には豊橋中央高校（鍵田町、高倉宣天校長）のグラウンドがあり、野球部が練習場として利用。毎年秋には、全校生徒が参加す

小学校・中学校

■市に心電図シス
テムを寄贈
1999(平成11)
年に開設した「豊橋
ハートセンター」(大
山町)は、高度な循

「12誘導心電図伝送」
測した心電図のデー
タを病院に伝送する
専門病院。昨年7月
には、救急車内で計
環器医療を提供する

システム」を市に寄贈。その功績から、今年4月には、紺綬褒章を受けた。装置は昨年9月に運用を開始。市内

消防署の救急車に配備された。救急隊員が車内で測定した心電図の画像を搬送先の病院に送信。患者の到着前に

医師が画像を確認する一方で、一刻を争う心疾患の早期診断を可能とした。鈴木孝彦理事長は褒章を受け「身に余

る光栄。救急隊と病院が連携し、患者の情報をフィードバックする仕組みを構築したい」と述べた。

校（大崎町）では、児童が干潟の生物を観察。干潟が自然環境の中で果たす役割などを学び、6年

生は「研究発表会」を開いている。章南中学校（老津町）では、干潟の保全活動を展開。水質浄化の

みや、ゴミを拾い集める美化活動などを行って、地元の自然を守る意識を高めている。

身近な自然が学びの場に

■体育祭な



24 時間救急救命体制



医療法人
澄心会

豊橋ハートセンター

循環器内科 心臓血管外科 脳神経外科 内科 麻酔科 リハビリテーション科・形成外科

第18回 ハートの日

「命の食事」

大切な人を病気から守るために今できること

ナグモクリニック 総院長

特別講演

南雲吉則先生

平成 29 年 8 月 11 日 (金・祝) ロワジールホテル豊橋 ホリデイホール